

学位被授与者氏名	富山 翔大 (とみやま しょうた)
論文題目	日中両言語における不对応語の比較研究－同形語を中心に
論文審査結果の要旨	<p>日本語と中国語は異なる種類の言語であるが、両方とも同表記システム――漢字を使用しているため、世界言語の中にも特有な「異系統同形語」現象になり、またそれが両言語の研究や教育に重要視をしなければならない影響を与えている。先行研究における両言語の同義語・同形語に関する研究視点は意味と用法中心になっていて、本論は意味と用法を比較した上、認知領域、慣用表現、比喻角度から比較分析を行い、ある程度の新鮮感があり、また学習と教育に方法論的な参考になると思われる。本論で比較した同形語の数はそれほど多くないが、研究準備段階にその数倍にあたる語を考察し、自分なりの分類標準を持って篩にかけて選別された代表として92語に厳選した。よって、同形語の比較分析研究として、及んでいる範囲と研究対象の量は修論として適当であると認められる。</p> <p>本論の作者は日本語母語者で、自力で研究対象を選別し、用例を翻訳した語学力については一定の評価ができるが、しかし、論文各章の構成と比較手法はかなり重複し、研究テーマの性格によるものとは言え、論文としてより多くの視点と角度からの考察や分析などが望まれる。例文と分析の割合にもややアンバランスになって、資料は多く、分析はワンパターンで、量も少ないという感じがある。</p> <p>平成25年2月21日に、北九州市立大学北方キャンパス3号館320教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(中国言語文化)として十分な内容であると判定した。</p>